

BUG

〒601-8036 京都市南区東九条松田町62
NPO法人日本自立生活センター
「ワークス共同作業所」

TEL (075) 682-3201
FAX (075) 682-3330
<http://www.mediawars.ne.jp/~saba>
Eメール: saba@mediawars.ne.jp

2008年3月10日 第1刷 第39号
編集責任者 大崎雅彦

2007年の4月から京都市のゴミ袋の委託販売をしています。

家庭用ゴミ袋 5リットル (10枚入り) 50円
10リットル (10枚入り) 100円
20リットル (10枚入り) 200円

30リットル (10枚入り) 300円
45リットル (10枚入り) 450円
資源ゴミ袋 20リットル (10枚入り) 50円
30リットル (10枚入り) 75円
45リットル (10枚入り) 110円

どうか皆様方、ご利用下さい。



今の時期、瑞穂のバリアフリーファームはお休みです。

冬の寒い時期なので、瑞穂のバリアフリーファームはお休みです。

もう少し暖かくなれば、何か作物を作る予定です。

何が出来ると楽しみになさって下さい。



ブログで紹介いたします

<http://blog.goo.ne.jp/j-works/>

今年のニュース



これは12月30日の「うずしお」です。年末年始は旅行先で、たくさん正月にははずせない事をしてきました。

キャノンのカメラで少しの雪を取りました。カメラは便利です。色んな所を見てきました。毎年行っています。旅行先では雪が心配でした。でも無事に帰る事が出来ました。

渦潮は大きな画面で見ました。徳島は寒かったですが、旅行が大好きになりました。それから散歩に行くときにはカメラをもって出るようになりました。もっと写真を写します。出かけるのが面白くなってきました。

写真を写しに行く日を自分から相談して出かけるようになりました。春になればもっとたくさん外に出てたくさん写真を写します。2008年スタートは写真にきまりです。

鈴

木 翔太

～京都競馬場バリアフリー探訪～

山中 泰紀

私の住んでいる淀には、たいして有名スポットはないけれど唯一、全国的に名が知れている所が京都競馬場である。近くに住んでいて目にすることは何度でもあるけど、意外と中に入ることは少ない。前に入ったのは、5年程前になると思う。

あれから、競馬場の中も少しは変わったみたいなんで、ちょっと探りに行くことにした。

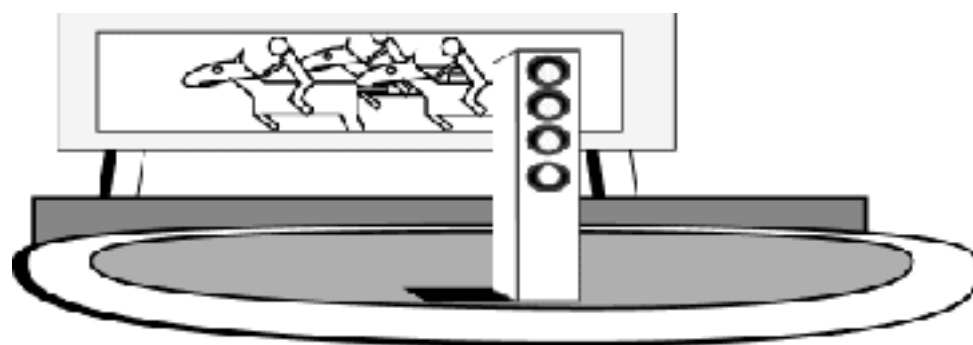
私の家から競馬場まで、電動車椅子で約20～25分くらいで行けるが、まず、競馬場まで来る手段として一般的に、車か電車の二通りになると思う。どちらにしろかなり移動距離があることを注意しないとイケない。特に車で来た場合は相当な覚悟が必要になる。駐車場から競馬場内へ行くのに距離があり、競馬場内も広いので移動するだけで疲れてしまう可能性はある。なので電動車椅子は別として、手動車椅子の方は出来れば介助者の方と行かれ車椅子を押してもらうことをオススメします。

場内での飲食はレストランとファーストフード・テイクアウトに分かれていて、レストランは和・洋・中、合わせて約20店程ある。手頃なところで済ませたい場合は吉野家やモスバーガーなどのファーストフード店がオススメである。フリースペースのテーブルがあり車椅子用のテーブルもある。ちょうど、私の車椅子の高さにピッタリで非常に食べ易かった。

次に車椅子優先の観戦席に行ってみることにした。エレベーターを使って4階に上がるのだが、通常はエレベーターが動いていないんで係員の方をお願いして、上げてもらった。いちいち連絡しないとエレベーターに乗れないのは不便かもしれないけど、誰でも使用できるようになっていると、車椅子の利用者が乗れない場合があるので、仕方がないのかもしれない。スタンドの車椅子優先席に行くと、柵が目線より下にあるので、見易くなっている。優先席ではないところは、目線に柵があり非常に見づらい。明らかに違う。それともう一つ、優先席の前が64mマルチ画面ターフビジョンになっているので、レース中継もよく見える。

馬券を購入する所も車椅子用のスペースがあり、一般のものより低い位置にあり購入しやすくなっている。係員の方がおられ、馬券の買い方なども教えてもらえるので、初めての方でもわかりやすいと思う。

以上ざっと紹介しましたが、もちろん馬券を購入するという楽しみ方もありますが、間近で馬が走っている姿を見るのも迫力があり楽しいので、皆さんも一度、競馬場に足を運んでみては如何でしょうか？因みに今年、京都競馬場で馬が走るのを見れるのは4月、5月、10月、11月です。





【外出中に遭遇した出来事に思うこと】

荒木正幸

外出すると「ここ、何とかならへんのかな・・・」と思うことがある。

具体的に言うなら、エレベーターに関連しての問題が多い。

肝な場所に設置されていなかったり、たくさんの回り道をし
ないことには使えなかったり、街中を出歩くと多くの矛盾する
光景を目にしてしまう。最近はバリアフリーの考え方に注目が
集まり多くの場所でエレベーターが設置されて、車椅子での移
動がずいぶん便利な世の中になっていることを実感している。
でも中には、場所を考えて工夫した設置をしていたなら、もっ
と使い勝手良く出来るのにと、不満に思わずにいられないケー
スもある。

某駅では、従来は地下ホームから地上に出るために、階段昇
降機と、駅に隣接する某デパートのエレベーターを使わなけれ
ばならなかった。昨年秋、この駅にも待望のエレベーターが完
成し「これでこの駅も便利になるな」と思っていたら、意外な
ことが原因となり、もったいない設備となっていた。地下ホームから改札階には何の問題もないが、改札階から地上に出るのにずいぶん待ち時間が発生していた。実はこのエレベーターは新築された8階建ての商業ビルのすべての階に通じており、地下駅の改札前にも通じる構造であった。エレベーターの上階は、それぞれにお客様の出入が多い人気店舗が揃っているためか、なかなか下に降りて来てくれない。

特に地上階である1階からエレベーターを利用するためには、ある程度の忍耐が必要になる。上階に行く者と地下の駅に行く者とは重なってしまうため、車椅子で乗り込むスペースも確保しにくくなっていた。「車椅子で利用するので降りて下さい」などと他のお客様に言うわけには行かないので、乗り込める状態でエレベーターが来るまで、しばらく待つしかない。ただ駅を利用したいというだけで、こんな待ち時間が生まれるのではダイヤ通りに動いている公共交通を利用するためのエレベーターなのに、全く意味がない状態になっている。駅は駅、商業ビルは商業ビルと、ビルの設計の段階から分別して建設するべきところである。

某デパートではこんなこともあった。そのデパートには全部で9基のエレベーターがあり、そのうち2基が「車椅子とベビーカー専用」になっている。本来ならばこれだけの設備があれば、何の問題もないはずだが、困ったことが起きてしまっていた。その日は秋の観光シーズンの真っ只中！ただでさえ人の多い時期、そのデパートでは上階で複数のイベントが開かれ、店内は混雑している様子だった。私はそのイベントとは無関係に、上階へ行こうと専用エレベーターを待っていたが、扉が開くと数台のベビーカーが見え、降りる様子がないので見送るしかなかった。しばらく待った後に扉が開くが、今度もベビーカーと車椅子が見えたので仕方なく見送った。もうさすがに次は乗り込めるだろうと思っていると、今度は一般用のエレベーターに乗り切れなかった健常者の方が多数乗り込んでいて、本来は「専用」とされているエレベーターを使えなかった。もう待てない！とインフォメーションへ行き、事情を説明することでようやくエレベーターで起きている矛盾を、店員側に理解していただけた。その後さらに2度も待たされたが、各階に係員が配置されたとかで割り込んで乗り込むお客様を止めることが出来たようだった。帰る時にも、来た時と同じくらい混雑していたが、さすがに係員が立った効果は絶大だったらしく、待たされて乗り込めないという事態だけは避けられた。誰か見ていないと、人は我先にという気持ちになってしまうのかも知れない。でも、あの「車



椅子とベビーカー専用」という看板表示、みんな知っていると思うのだが、あれだけ目立つ表示をしてあるものが見えないはずはない。それなのに階段で行けるはずの人々で満杯になるエレベーター。世間のモラルは果たしてどこへ消えてしまったのだろうか。そんな想いで帰り道は悲しくさえ思った。

エレベーターの利用価値と、世間の人々が持ち合わせている社会的モラル。さまざまな矛盾と不条理に左右されながらも、全国各地で今日もエレベーターが稼働している。その中で、障害者やお年寄りの方、またケガや病気等で車椅子を使用する人々が、エレベーターが使いたくとも使えずに困っているケースは、どのぐらいの数になるのだろうか。世の中の誰もが困ることのないバリアフリーを期待している。



NAKAJIMA'S EYES (パスカルについて)

皆さんパスカルという人をご存知だろうか。物理学（流体力学「パスカルの原理」）や数学（数列の二項定理で習う「パスカルの三角形」でも有名であり、「微積分」の先駆者であり、「確率論」の創始者でもある）・哲学の分野でもよく知られている。

「人間は、自然のうちで最も弱い一本の葦である。
しかしそれは考える葦である。
これを押し潰すのに、宇宙全体が武装する必要はない。
一吹き風一滴の水もこれを殺すのに十分である。
しかし宇宙がこれを押し潰すとしても、そのとき人間は、
人間を殺すこの者よりも崇高である。
なぜなら人間は、自分が死ぬことを、
それから宇宙が自分よりずっと勝っていることを知っているから、
宇宙は何も知らない」

という言葉を残した人である。

「パスカルの原理の1つ { (密閉された容器内の静止流体中では、
1点に圧力を加
えると流体中のどの部分にも、加えられたのと同じ圧力が伝わる)
片方の液面の広
さを2倍にすれば (圧力×面積も2倍になり2Nとなる) } 」

これを利用すると、小さな圧力で大きな圧力を生み出すことができる。

この原理を利用して、油圧ジャッキや油圧フォークリフト等、多くの分野に応用されている。

また16歳（1642年）で史上初めての機械式計算機（コンピューターの先駆けみたいなものかな？）を製作した人でもある。

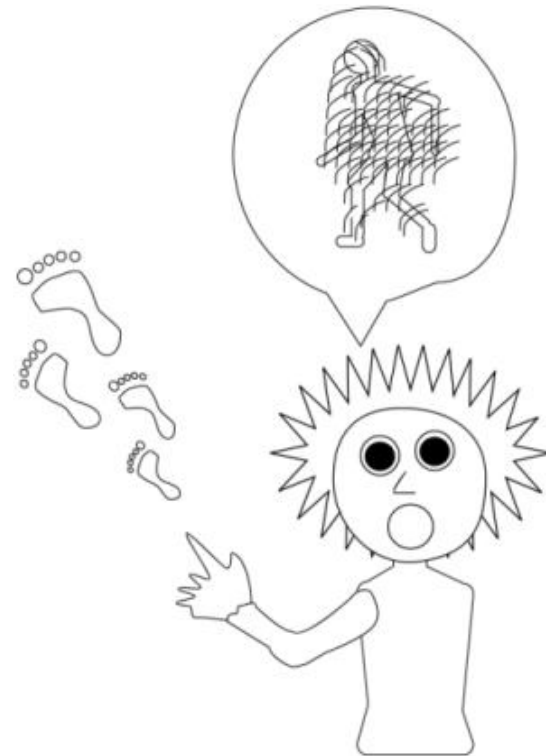
コンピューターを使ったり、勉強をしたりしている私達なら少し位は頭の片隅に入れておかねばならない名前ではないでしょうか。



油圧ジャッキ

あしあと

- 12月12日(水) お食事会
12月13日(木) 忘年会
12月15日(土) 東南フェスタ2007
12月22日(土) 亀岡PC教室、ワード編
12月28日(金)～2008年1月6日(日)、年末年始休業
01月08日(火) 萬福寺 ほてい市に参加
01月12日(土) 亀岡PC教室、ワード編
01月15日(火) 新年懇親会(歳末助け合い共同募金支援金)
01月26日(土) 亀岡PC教室、ワード編
02月05日(火) 消防訓練(南消防署)
02月08日(火) 萬福寺 ほてい市に参加
02月19日(土) 亀岡PC教室、ワード編
02月14日(木) 府身連のP C教室(南丹市八木)



編集後記

私にとっては、何年かぶりのBUG (バグ) の編集である。
もう、随分と編集に携わっていない。編集に携わったのが何年も前のことなので、忘れて
いることが沢山ある。

ファイルからワードへの写真の入れ方や編集後記等の見出しや枠の入れ方。ヘルプに質
問を入れたり、所長に聞いたり、挿し絵を描いて貰ったり、記事を投稿してくれた人が撮
ってきてくれた写真を入れたりして、何とかここまで辿り着いた。「ホッ」とした気分
である。

編集

者 H/N

B U G 第39号 第1版 2008.3.10

ワークス共同作業所では、毎月8日黄檗山
萬福寺にて、市民ふれあい『ほていまつり』で
バザーを開催させて貰っています。

お誘い合わせの上、お越し下さい。

JR 奈良線・黄檗駅(車椅子 10分・徒歩5分)
京阪電鉄宇治線・黄檗駅(車椅子 10分・徒歩5分)

